

第27回 三田市内県立高等学校 育友会(P T A)四校交流会

11月26日(木) まちづくり協働センター多目的ホールにおいて、第27回四校交流会が開催されました。この四校交流会は、三田市内の四つの県立高等学校(北摂三田・三田西陵・有馬・三田祥雲館)の育友会、PTAが活動の交流を目的として、毎年開催している会です。今回は三田祥雲館高校がホスト校を務めました。今年はコロナ渦であるという事で直前まで実施の可否を検討しましたが、コロナ渦でもできることを「コロナに負けるな!」との思いで、対策を練りながら実施することにしました。例年では、第一部が講演会、第二部が懇親会の二部構成となりますが、コロナ感染拡大防止を熟慮した結果、今年は講演会のみとなりました。

講演会の講師、また参加して頂く方の安全をどのように対策していけばいいかを入念に話し合い、当日、ソーシャルディスタンス、検温、手指の消毒、換気を心掛けて準備しました。



コロナ感染防止対策のアクリルボードを設置

【講演会】

昨年、我が校の人権教育講演会で講師を務めて頂き、大好評だった落語家 桂文喬さんを講師としてお招きし、今回は、講演会のみならず、本業の落語も披露していただきました。

講演会では「夢は叶う! 思い込みとやさしさがあれば」～飽きず、焦らず、諦めず～をテーマに、子供に向けて、そしてその親達に向けて、心温まるエピソードを盛り込みながら講演してくださいました。桂文喬氏のお人柄が伝わる、素敵な講演になりました。

【落 語】

ご自身の入院中の体験談を元に創られた創作落語は目の前に色々な人が登場していると錯覚してしまうさすがプロ!と思わずにはいられない、あっという間の笑いの30分でした。生の落語を聞くのは初めてという参加者も多く、大変貴重な体験ができました!



落語の後に、参加者全員で記念撮影を撮りました。

最初は真面目なポーズで…。「はい、ポーズ！」

普通に撮るだけでは面白くないと、文喬さんの呼び掛けでもう一枚は、それぞれ思い思いのおもしろおかしく、おふざけポーズでパチリ！！

ドッと笑いが起こり、会場が和やかで温かい空気に包まれました。文喬さんを中心に、四校のたくさんの方と繋がりが持てた笑顔溢れる交流会になりました。桂文喬さん、ご協力頂いた皆様本当にありがとうございました！

来年は、例年通りの二部構成で開催でき、四校のつながりが更に強くなることを祈って…



※これはまちがい探しクイズではありません。(笑)

◇参加者の皆様より感想をいただきました◇

○とても良い講演会でした。1時間があったという間でした。

○楽しい講演でした。落語まで聞かせていただいて…。とても面白かったです。

(北摂三田高校の)教頭先生も喜んでいました。

○「親は子供のものだけれど、子供は親のものではない」という言葉が心に強く残りました。今まで、何気ないふりをして息子を自分の思う方向へ誘導していたこと数知れず。これからは心して接するよう気をつけます。

○申し訳ないのですが、落語を最後まで聞くのはこの歳になって初めてでした。ネタはいつも考えていて、何百もあるとの事。驚きました。今度の年末年始のテレビでは、落語をちゃんと観たいと思います。講演会—親は子供の犠牲になっていいけど、子供は親の犠牲になってはいけない。心に響きました。早速、主人にも伝えました！ありがとうございました

○仕事でも、何でも人間関係が大事って言われていて、本当にそうだと思います。

また「無条件の肯定的関心を子どもに持つ」 私は、つつい心配し過ぎて子供の意見を最後まで聞かずに親の意見を言うってしまうのでこのお話を聞いてとっても反省し、気を付けていこうと思いました。本当に勉強になりました。ありがとうございました。

○ご両親との心温まるエピソードでは、無条件に子どもを認めるとは具体的にどうすればいいか、親としてのお手本を示していただき、とても参考になりました。ありがとうございました。

○コロナの影響で今年は育友会としての活動がほとんど中止になり、寂しい想いでいましたが、そんな中でこのような講演会を開催して下さったことに心より感謝の気持ちでいっぱいです。